

令和3年度（2021年度）大分大学グローバル感染症研究センター
共同研究 成果報告書

採択番号	2021B02	
申請者に関する事項	氏名	鎌田 啓佑
	所属機関名	公益財団法人結核予防会結核研究所 臨床疾学部
	職名	医員
研究課題名	<i>Mycobacterium abscessus</i> species のヒト-ヒト感染の解析	
研究期間	2021年12月1日～2022年3月31日	
本センター対応教員	小宮 幸作	
令和3年度（2021年度）年度研究成果の概要		
<p>申請者らは、西別府病院の気管切開患者 55 例を対象に下気道検体(吸引喀痰)を採取し検体中の <i>M. abscessus</i> species の分離スクリーニングを試みた。55 例のうち 47 例は 2018 年の同様の調査に参加していた症例であった。前回調査に参加していた 47 例ではこのうち 25 例で <i>M. abscessus</i> species が分離されていたが今回の調査では 55 例中 30 例においてスクリーニング検査(下気道検体培養)で抗酸菌が検出された。前回調査で <i>M. abscessus</i> species が検出された 25 例のうち 18 例では今回も抗酸菌が検出された一方、前回調査で <i>M. abscessus</i> species が検出されなかった 22 例のうち 8 例で今回新たに抗酸菌が検出された。また前回の調査に参加していない 8 例についても 4 例で抗酸菌が検出された。今回検出された抗酸菌株については非結核性抗酸菌であることは確定しているが、正確な菌種同定は未実施であり、今後、結核研究所に菌株を搬送し <i>M. abscessus</i> species かどうかを確認する。<i>M. abscessus</i> species であることが確定した菌株については亜種同定し、NextSeq(Illumina)を用いて全ゲノム解析および菌株間のリンケージ解析を行う方針である。また NCBI に登録されているゲノムデータベースと併せて系統解析し過去の分離株との比較も含めて感染動態の解析をグローバルとの関係性で実施する。</p> <p>なお、研究課題申請時に予定していた <i>M. abscessus</i> species の感染経路を明らかにすることを目的とした現地環境調査については新型コロナウイルス感染症蔓延に伴って、東京-大分間の出張および院内での調査が認められなかったことから期間内に行うことはできなかった。</p>		